

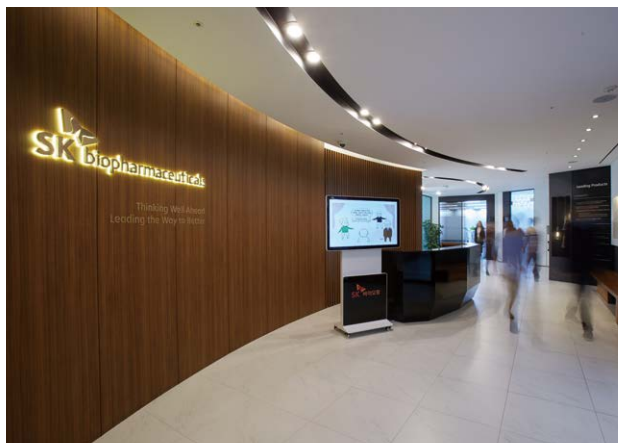
提携活動

■ SK Biopharmaceuticals社とライセンス契約締結

2020年10月に、韓国SK Biopharmaceuticals社（以下、SKBP社）と、同社が開発中の抗てんかん薬であるCenobamateを日本において独占的に開発および商業化するライセンス契約を締結しました。

SKBP社とその米国子会社であるSK Life Science社は、中枢神経系(CNS)疾患の治療薬の研究、開発および商業化に注力するグローバル製薬企業です。CenobamateはSKBP社が創製し、2019年11月にFDAから「成人におけるてんかん部分発作」の適応で承認され、2020年5月にXCOPRI®の商品名で販売されています。

てんかんは、脳の神経細胞が異常に興奮した結果として発作が引き起こされる慢性的な脳の疾患であり、日本での患者数は約100万人とされています。てんかん患者さんの大部分が長期的な薬物療法を必要としますが、既存の抗てんかん薬を使用しても、約30%の患者さんがてんかん発作を十分にコントロールできていないとの報告があります。てんかんは、今なおアンメット・ニーズの高い疾患であり、Cenobamateが日本のてんかん患者さんの新たな治療選択肢になると期待しています。



SK Biopharmaceuticals社

SKBP社ホームページ：<https://www.skbp.com/eng>

CSR活動

■ 国際イニシアティブ「RE100」に加盟

2020年6月に、当社は事業活動で使用する電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目指す国際イニシアティブ「RE100」に加盟しました。RE100(Renewable Energy 100%の略称)は、気候変動対策を推進する国際環境NGOであるThe Climate Groupが、企業に環境影響の情報開示・管理を促している国際NPOであるCDPとのパートナーシップの下で運営する国際イニシアティブです。

当社は、中長期環境ビジョン「Environment Challenging Ono Vision (ECO VISION 2050)」を策定し、製薬業界における環境リーディングカンパニーを目指しており、「脱炭素社会の実現」を重点項目の一つとして、温室効果ガスの自社排出量を2050年度までにゼロにする目標を設定しています。

今回、RE100イニシアティブに加盟したことは目標達成に向けた重要なステップであり、小野薬品グループとして再生可能エネルギー

の調達、利用拡大に向けた取り組みをさらに強化していきます。

RE100

CLIMATE
GROUP



■ 3年連続「FTSE4Good Index Series」および「FTSE Blossom Japan Index」構成銘柄に採用

2020年7月に、当社はESG(環境、社会、ガバナンス)に関する投資指数「FTSE4Good Index Series」および「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に3年連続で採用されました。

「FTSE4Good Index Series」は、ESGを強力に実践する企業のパフォーマンスを測定するために設計されている指数です。「FTSE Blossom Japan Index」は、日本企業の株式で構成される株価指数で、世界最大の年金基金である GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)に、ESG投資指数の一つとして採用されています。

当社は、今後も事業戦略にESGの視点を取り入れ、社会の持続的発展に貢献するとともに、持続的な企業の価値向上に取り組んでまいります。



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan